

世界史B

第2問 自然への人間の関わりや災害が人間生活にもたらした影響について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い（問1～9）に答えよ。（配点 25）

A 地震、火山噴火、洪水など自然災害は、人類に甚大な被害をもたらしてきた。諸説はあるが、①インダス文明は洪水・氾濫が、クレタ文明は地震が、それぞれ崩壊を導く要因となったともいわれる。1556年1月末、中国の黄河下流域を襲った巨大地震は、死者80万人を超え、世界史上最悪の被害をもたらした。2008年5月12日に②四川省で起こった直下型の地震は記憶に新しい。現代の科学でも地震を予知することは困難とされている。一方、火山噴火の場合、その予測はかなり可能といわれる。たとえば、③ローマ時代にポンペイ市街をそっくり地中深くに埋没させたことで有名なヴェスヴィオス火山の噴火のときも、地鳴りや噴煙から噴火を察知した多くの住民が避難したといわれる。

問1 下線部①について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① アーリヤ人によって築かれた都市文明である。
- ② モエ(ヘ)ンジョ = ダーロは、インダス文明の代表的遺跡である。
- ③ インダス文字が使用され、現在、ほぼ解読されている。
- ④ 自然神が信仰され、その賛歌集である『リグ = ヴェーダ』がつくられた。